

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成25年3月期 第2四半期決算短信説明資料
平成24年11月9日

人と人を車でつなぐ架け橋 カーチス



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の推移)

【2】筆頭株主の異動および臨時株主総会の開催について

【3】営業施策進捗

- ①海外進出の検討
- ②新規出店計画

【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

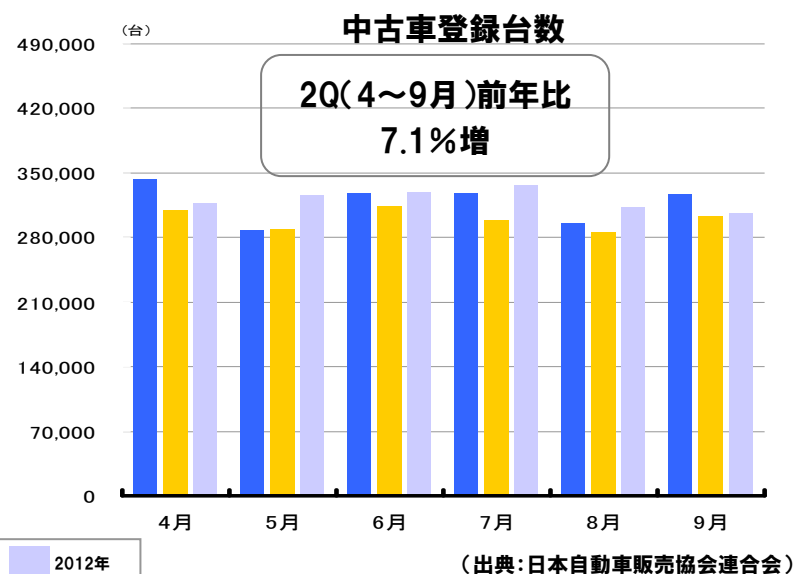
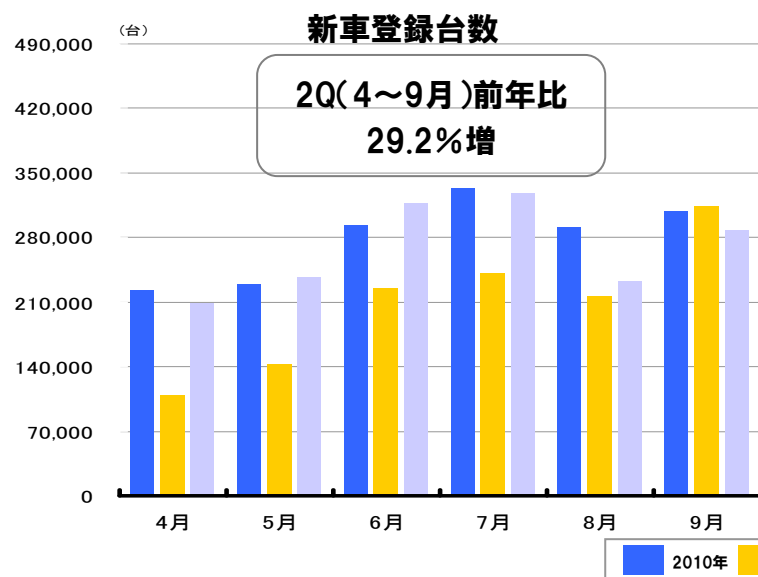
■ 2012年(1～9月)の自動車市場

新車登録台数 = 270.6万台(前年同期比37.6%増)

中古車登録台数 = 305.2万台(前年同期比7.3%増)

新車 ⇒ 9月末のエコカー補助金制度終了の影響により、12ヶ月ぶり前年実績下回る

中古車 ⇒ 新車販売好調により中古車(下取車)の供給過多(登録台数増加)。1Qに引き続き、オートオークションにおける流通台数は増加したものの、相場が低調に推移し、苦戦

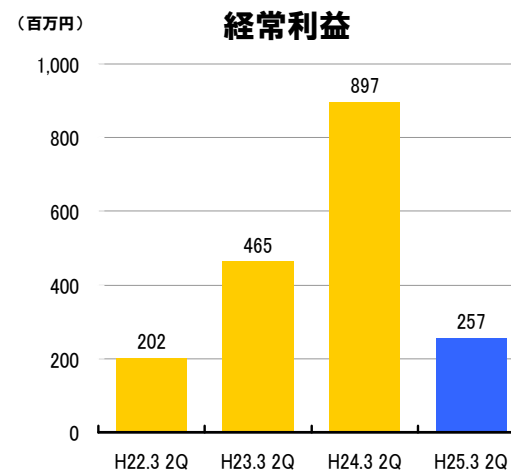
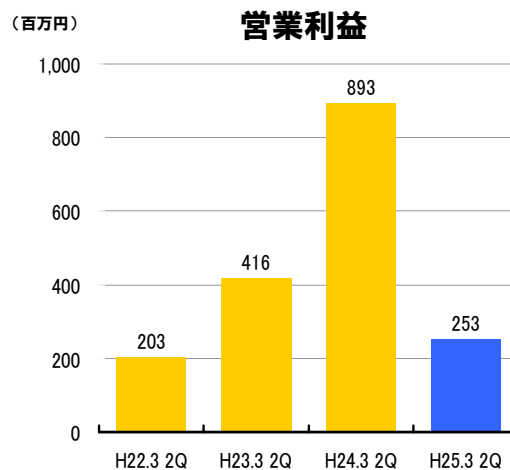
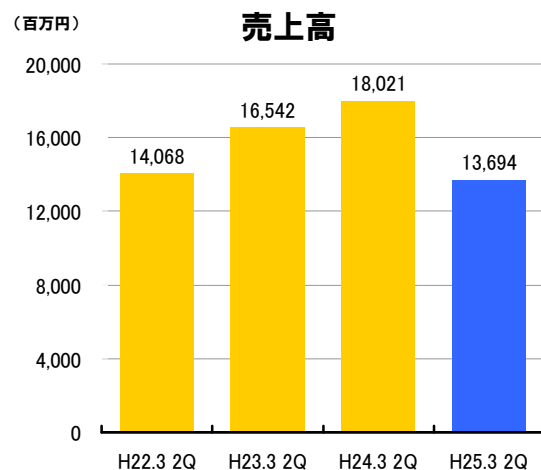


【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

厳しい環境下で売上高が減少したものの、
粗利益率確保により黒字を確保

【2Q累計】	売上高	13,694百万円（前年同期比76.0%）
	営業利益	253百万円（前年同期比28.4%）
	経常利益	257百万円（前年同期比28.7%）



【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

(単位:百万円)

	平成25年3月期 2Q	平成24年3月期末	前期末比
流動資産	5,918	6,090	97.2%
固定資産	962	969	99.3%
総資産	6,881	7,059	97.5%
流動負債	1,751	2,124	82.5%
固定負債	171	170	100.8%
純資産	4,958	4,765	104.1%
負債・純資産合計	6,881	7,059	97.5%

《補足説明(前期末比)》

- ✓ 流動資産 : 前期末比171百万円減少 現預金22百万円、売掛金112百万円、商品17百万円減少
- ✓ 流動負債 : 前期末比372百万円減少 閉鎖店舗引当金133百万円、未払法人税等65百万円、買掛金63百万円減少
 - ▶ 流動比率 337.9% (前期末 286.7%)
- ✓ 純資産 : 当期純利益194百万円の計上により増加
 - ▶ 自己資本比率 72.1% (前期末 67.5%)

【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

前期⇒震災の影響により中古車需要急増
 今期⇒1Qに引き続き、エコカー補助金の影響により中古車供給過多

(単位:百万円)

	平成25年3月期 2Q	平成24年3月期 2Q	前年同期 増減率
売上高	13,694	18,021	△24.0%
売上原価	10,597	14,364	△26.2%
売上総利益	3,097	3,657	△15.3%
販管費	2,844	2,763	2.9%
営業利益	253	893	△71.6%
経常利益	257	897	△71.3%
四半期純利益	194	※ 2,697	△92.8%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 1Qに引き続き、不安定なオートオークション相場等の影響により業績鈍化、前年同期比△24.0%
- ✓ 売上総利益 : 前年同期20.3%であった売上総利益率は、粗利重視の施策が奏功し、22.6%(前期同期比+2.3%)で着地
- ✓ 販売管理費 : 通信費、支払手数料を削減したものの、店舗数の増加により地代家賃増加 前年比+2.9%
- ✓ 営業利益 : 売上総利益率は、前年同期と比べ上昇したものの、売上高の減少により、253百万円に留まる
- ✓ 四半期純利益 : 四半期純利益194百万円を計上(※前年同期は、訴訟損失引当金戻入益1,799百万円を計上)

【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑤キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成25年3月期 2Q	平成24年3月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3	※ 1,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	△10
現金及び現金同等物の期末残高	3,505	2,663

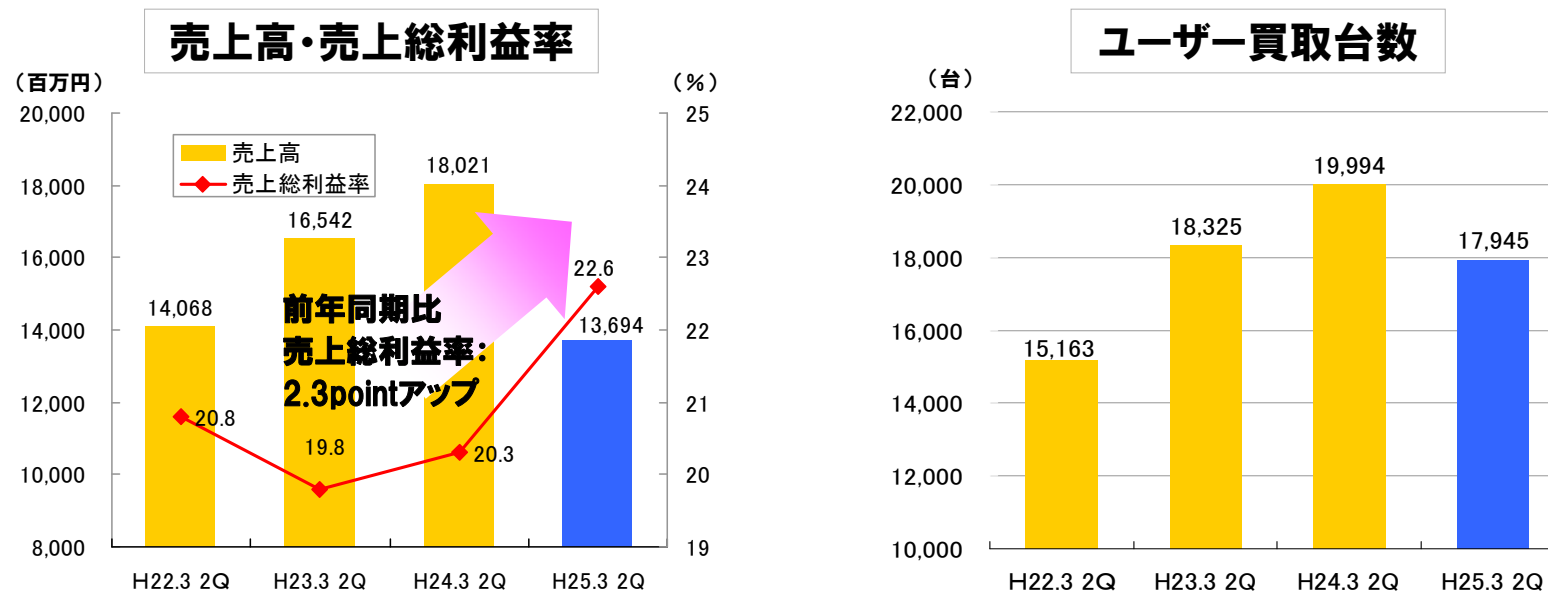
《補足説明》

- ✓ 営業CF : 売上債権112百万円の減少等のプラス要因があったものの、法人税の支払額93百万円、未払金の減少額89百万円等のマイナス要因により減少
 ※前年同期は、訴訟の勝訴による拘束性預金(500百万円)の解除、売上債権の減少(470百万円)等により、大幅増加
- ✓ 投資CF : 有形固定資産の取得による支出、敷金及び保証金の差入による支出

【1】平成25年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑥業績トピックス(売上高およびユーザー買取台数の推移)

■売上高およびユーザー買取台数の推移



- ✓ オートオークションの不安定な相場等の影響により、中古車業界は、依然厳しい状況が続く。ユーザー買取台数は、1Qに引き続き、一括査定媒体からの買取情報に含まれる解体見込車輛の割合が急激に増加したため前年同期に比べ10.2%減となり、売上高は、売上単価が低水準に推移したことから前年同期比24.0%減少
- ✓ 売上総利益率は、利益率を重視した営業施策により22.6%(1Qより2.0ポイント増加)

【2】筆頭株主の異動および臨時株主総会の開催について

■筆頭株主の異動

- ✓ 主要株主であるレスポワール投資事業有限責任組合よりKABホールディングス合同会社（以下、「KAB社」という。）へ当社株式譲渡
⇒ KAB社が発行済株式総数に対する割合24.05%を保有し、筆頭株主およびその他の関係会社となる（9/25付プレスリリース）
- ✓ 株式会社C&IホールディングスよりKAB社へ当社株式譲渡（10/2関東財務局提出 変更報告書（大量保有））
⇒ KAB社が発行済株式総数に対する割合29.34%を保有

■臨時株主総会の開催

- ✓ 筆頭株主の異動および取締役複数名より辞意表明がなされたことに伴い、取締役選任を目的とした臨時株主総会の開催を決定（9/26付プレスリリース）
- ✓ 平成24年11月22日 臨時株主総会開催および付議議案決定（10/22付プレスリリース）
⇒ 議案 取締役6名選任の件



一層の経営体制の強化と充実と
コーポレート・ガバナンスの更なる強化を図る

【3】 営業施策進捗

① 海外進出の検討

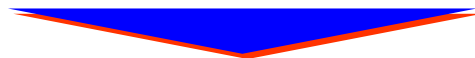
■ 韓国駐在員事務所開設し、業務開始(平成24年9月)

<開設の背景>

- ✓ 自動車業界における国内中古車市場は、新車のエコカー補助金制度の影響や、若年層の運転免許証取得率の低下等による影響により、年間の中古車登録台数は6年連続減少



- ✓ 前期2Qより当社社員を現地に派遣し、市場調査を開始
- ✓ 現地パートナー候補企業との韓国における中古車事業のビジネスモデルを協議中



駐在員事務所開設により、同国での事業展開を加速させ、
中長期的に同国を含めた海外事業展開によって
企業価値向上を企図

【3】 営業施策進捗

②新規出店計画

■上半期において、3店舗の新規出店
(埼玉県川口市、富山県富山市、横浜市磯子区)

今期10店舗の新規出店を計画

自動車業界の動向等を鑑み、
出店を推進
出張査定の効率化および
収益力強化を目指す



【カーチス磯子 店舗外観イメージ図】